

2022年4月15日

木材業景況調査結果

第451回（令和4年3月分）

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

3月は、販売量については、流通部門で増加、製造部門については変わらなかった。仕入量については、流通部門・製造部門とも増加した。販売価格、仕入価格については、流通部門・製造部門とも上昇した。前月と比較して販売量・仕入量の増加が目立っている。

4月は、販売量については、流通部門・製造部門とも増加の見通し、仕入量については、流通部門では増加の見通し、製造部門では変わらずの見通しとなった。また、販売価格・仕入価格については、流通部門・製造部門とも強含みの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材、北洋材（欧州材を含む）、国産材については、流通部門・製造部門とも強含み予想となった。また、建材も強含み予想である。今回もすべての部門で強含み予想となっている。

プレカット工場は地域差があるが、関東のビルダーを中心に上半期は好調な状況が続くものの大工不足、合板不足など不安材料も多い。資材については、ウクライナ情勢の影響もあり国産材への要望がさらに強まっている。

ロシアからの単板が入荷しなくなった東北の合板工場からの引き合いが強くなり、丸太の価格が上昇している。一方で、製材品マーケットは、落ち着いている。現時点では、流通もプレカット工場も十分に在庫があるが、今後のロシア材、欧州材の入荷状況の動向が懸念される。

景況調査

令和4年3月分集計表 () 内は実数

モニター数132 回答88 回収率67%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加26% (23)	変わらず63% (55)	減少11% (10)
仕入量	増加25% (22)	変わらず63% (55)	減少13% (11)
販売価格	上昇31% (27)	変わらず68% (60)	下降 1% (1)
仕入価格	上昇39% (34)	変わらず58% (51)	下降 3% (3)

来月の見通し

販売量	増加24% (21)	変わらず64% (56)	減少13% (11)
仕入量	増加27% (24)	変わらず58% (51)	減少15% (13)
販売価格	強含み44% (39)	保ち合い52% (46)	弱含み 3% (3)
仕入価格	強含み49% (43)	保ち合い49% (43)	弱含み 2% (2)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	60% (40)	37% (25)	3% (2)
南洋材	52% (30)	45% (26)	3% (2)
北洋材(欧州材を含む)	79% (49)	18% (11)	3% (2)
国産材	59% (49)	36% (30)	5% (4)
建 材	69% (44)	30% (19)	2% (1)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	24% (14)	66% (39)	10% (6)

〔製造部門〕

モニター数126 回答数95 回収率75%

当月の状況

販売量	増加22% (21)	変わらず58% (55)	減少20% (19)
仕入量	増加26% (25)	変わらず59% (56)	減少15% (14)
販売価格	上昇25% (24)	変わらず69% (66)	下降 5% (5)
仕入価格	上昇36% (34)	変わらず58% (55)	下降 6% (6)

来月の見通し

販売量	増加27% (26)	変わらず61% (58)	減少12% (11)
仕入量	増加22% (21)	変わらず63% (60)	減少15% (14)
販売価格	強含み36% (34)	保ち合い61% (58)	弱含み 3% (3)
仕入価格	強含み43% (41)	保ち合い52% (49)	弱含み 5% (5)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	65% (22)	29% (10)	6% (2)
南洋材	67% (16)	29% (7)	4% (1)
北洋材(欧州材を含む)	72% (21)	17% (5)	10% (3)
国産材	49% (44)	45% (40)	6% (5)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	34% (13)	45% (17)	21% (8)